



1年のうちで1番寒さの厳しい2月ですが、登園してきた子どもたちは、水たまりに張った氷を見つけて大喜びです。「雪降るかなあ？」と窓から外を眺めて待ちわびる姿も多く見られます。冬の自然に触れる機会を多く持ち、子どもたちの興味や関心に応えていきたいと思います。

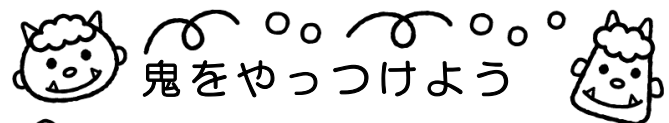
この頃は園生活のさまざまな場面で、子どもたちから就学を意識した言葉が聞かれます。率先して手伝いをしたり、スリッパや絵本の整頓をしたり…自分のことだけでなく、周りのためになることをして、それを認められることに大きな喜びを感じています。「もうすぐ小学校やで！」この言葉が子どもたちに力を与えてくれています。

みんなで考えよう！

給食後の時間は保育室内でゆったりと遊ぶことが多いのですが、この頃は『どの玩具で遊ぶか』『どこに出すか』を4～5人のグループに当番活動として考えてもらっています。

始めたばかりの頃は「〇〇がやりたい！」とお友だちの意見を聞く前に一人で準備してしまう姿もありましたが、「みんなで考えて、みんなで準備してほしいな。」と繰り返し伝えたことで、子どもたちの進め方にも変化が出てきました。「待つて！みんなで考えよう！」「〇〇ちゃんは何がいいと思う？」「じゃあこっちにコレ出そうか？」と相談しながら決めていく姿が多く見られるようになりました。クラスみんなにあそびコーナーを紹介する時も自信を持って説明してくれます。

あそびの準備完了まで少し時間はかかりますが、自分たちであそびを決めて準備することに喜びと責任を感じて、みんな意欲的に取り組んでいます。



「鬼は外、福は内」の掛け声と共に、豆まきの季節がやってきました。自分専用の豆入れとお面を作って、準備万端の子どもたち。先月は獅子舞を見て泣き出した子もいましたが、節分ではどうでしょうか？



正しい姿勢で座ろう！

食事中、お絵描き中、テレビを見ているとき…
お子さんはどんな姿勢で座っていますか？就学へ向けて、集中力の土台となる『正しい姿勢』を意識して身につけていきたいですね。